

令和7年度第1回青谷地域振興未来会議 議事概要

日時：令和7年4月22日（火）午後1時30分～3時10分

会場：青谷町総合支所 第1，2会議室

【出席委員】

青木綾、秋田典昭、井上智朗、浦島考雄、大谷 茜、斎藤智範、田内伸一、棚田美紀雄、長谷川優、浜野幸子、山田由理子

【欠席委員】

小谷峻一

【事務局】

<青谷町総合支所>

佐々木支所長、田中副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、高野産業建設課長、金崎市民福祉課長、山田地域振興課課長補佐

<都市企画課>

三谷都市企画課主査兼都市計画係長

【日程】

- 1 開会
- 2 支所長あいさつ 佐々木支所長
- 3 委嘱状交付、自己紹介
- 4 地域振興未来会議について説明 (資料1)
- 5 会長・副会長選出

会長 田内 伸一

副会長 棚田美紀雄

- 6 議題

【報告事項】

- (1) 令和7年度 総合支所等の体制について (資料2)
- (2) 令和7年度 青谷地域に係る当初予算について (資料3)

【協議事項】

(1) 【都市企画課】 景観計画の改定について (資料4)

(2) 青谷地域未来プランおよび実施計画について (資料5)

(3) 令和7年度 地域振興未来会議開催スケジュールについて (資料6)

4 その他

・生活交通協議会の委員選出について (資料7)

・都市計画審議会の委員選出について (資料8)

5 閉会

◎議事概要

<報告事項>

(1) 令和7年度 総合支所等の体制について

事務局より説明

質疑なし。

(2) 令和7年度 青谷地域に係る当初予算について

事務局より説明

質疑なし。

<協議事項>

(1) 【都市企画課】 景観計画の改定について

事務局より説明

【委員】 景観の良い場所を新たに作ろうということではなく、今ある景観を見に来てもらえるように守ったり、雰囲気は統一していこうというものか。

【事務局】 今あるものや、今あるものをより充実していきたいというところもあるので、両方で考えていただければと思っております。

【委員】 長尾鼻をはじめ、青谷は山並み海も綺麗だがそういう山を重点区域の候補

地にもすることも可能か。

【事務局】 核となる山があり、それを含めた周りの住宅が一体となって作り上げている景観であれば重点区域の設定を考えていきたい。例えば鹿野城跡があってその周りに城下町が作られているようなところの雰囲気と置いていただければ。また湖山池では、湖山池周辺に住宅があり、その背景に山麓もあるので、湖山池の周辺を重点区域においてそこに建てられる建築物なども派手な印象のものでなく、雰囲気作りとなるような外壁にさせていただくなどの指導をするために重点区域を設定しているものです。青谷地区でも、例えば、夏泊漁港と漁港付近の急傾斜に集落もあるので、夏泊漁港とその裏の背後地の住宅も含めて、景観にふさわしければ、重点区域に置くというようなところもあると思います。

【委員】 酒蔵が青谷には昔は三つあって、その一つは山根酒造が気高の布勢の清水を使っていて大事にされているし、山を挟んで気高、鹿野の方もとても大事にしておられると聞きます。また、因州和紙に携わる方にとっても大事な水源のある山だと認識しているので、そういうところを候補地として推薦してみたい。

【事務局】 山があって水を取られる水源池があって、そのふもとに集落があるようなところですね、それも景観として望ましいような雰囲気がもう作られているということですか。

【委員】 山根も河原もいいところで、ノスタルジックな雰囲気がある。

【委員】 私も全く賛成の意見で、景観という意味でいうと今おっしゃった青谷町をぐるっと囲む山稜があるけれど、私は獵とか山菜取りで、勝部の奥から小畑の奥を回って鹿野町・気高町を含む周辺の稜線を結構動き回っているが、一番奥の方から海に向かって晴れた日に望む景観というのは本当に素晴らしい。それも直接的に海に向かってのランドスケープだけではなく、ぐるりと囲んだ山稜1体を含んだ部分があってこそ成り立つ部分です。細かい事を言えば、長尾鼻から南に上っていく山稜上には五本松という所も今の時期は梨の花が、大変綺麗でその稜線がずっと長く南の奥の方まで伸びております。こういった風景というのはぜひ保護すべき青谷町ならではの

景観ではないかと、当然梨という果樹の栽培にも大きく繋がってくるし、先ほどおっしゃったように気高や青谷の産業についても、下流を含めて非常に重要な水源地帯となっている。勝部の方も同様に付近の田んぼに水を引く上でも貴重な恵みのもとになっている。産業であると同時に今ある自然が豊かにあってこそその話なので、ここは強く推薦したい。

【事務局】 青谷を囲む稜線というところですね。

【委員】 はい。

【事務局】 今委員がおっしゃられた青谷全体の山稜となると重点区域のエリアとしては膨大すぎるので、重点区域ではなく、市全域を景観形成区域に指定しますので、その中での運用という形で引き続き指導していきたいと思います。もう少し小さいエリアで検討いただきたいです。

【委員】 ちょっと違うかもしれないが、この総合支所の南側の水田の地域が、どんどん営農者が減ってきて、耕作放棄地が非常に増えてきた。JR で青谷に入ってきたときに一番よく見える景観だと思う。これはほっといて改善する方向にならない。耕作地が減って行って、葦の田がどんどん増えて行って、青谷に入ったらもう周りじゅう葦の田んぼということになる可能性が非常に高いと思っている。非常に景観が悪くなっていくと思う、経てば経つほどなので、ちょっとこのこともお話の中に入れていただきたいと思う。

【委員】 すごく素敵だと思ったのが、山崎醤油前の周辺、潮津神社とか山名邸とか、それからずっと行って西本酒造とか、そこからずっと行って本町の横から湊神社への道は北前船の当時の景観をそのまま残してあって、平田の木綿街道とよく似てるなって雰囲気が出て、ここは本当にコンパクトでちょっと手を加えれば、すごく楽しく歩ける空間になっているといつも思いながら歩いているので、それも入れていただくと嬉しいです。

【事務局】 今日の結論は決まらないと思いますので、次回以降でもそれぞれ持ち帰ってご検討いただき、次の会議で出していただいて、それを集約していく形でよろしいでしょうか。ただし、今回は5月の中旬ぐらいまでに、この地域という推薦があるようでして、ご意見があれば、5月の中旬ぐらいまでに地域振興課の方にお声掛けをいただきましたらやり取りするのでよろしくお願

いします。

【委員】ここで決まったことが、この計画に決定になるのか。

【事務局】次のステップとして、まず都市企画課の方で提案いただいた地区の現地を確認させていただきまして、それが重点区域にふさわしいのかどうか確認させていただきます。ふさわしいと判断したとき、次の例えば青谷町であれば住んでおられる役員にお話を伺うなどとして、重点区域を設定させていただく上でのメリットとかデメリットの相談をして、地元としても重点区域に前向きで、ぜひとも指定してほしいというご意見があれば、手続きを踏みたいと思います。

【委員】その提案を挙げるのは5月か。

【事務局】5月の中旬ぐらいまでにご意見いただければと思います。

【委員】何ヶ所か挙げてそれぞれで調査をするということか。

【事務局】こちらの方で現状確認させていただきます。

【委員】実質は時間がないのではないか。集約はいつ頃までにされるのか。

【事務局】地域未来会議でご意見いただきたいのは5月の中旬ぐらいまでに地域振興課へご提案いただければありがたいです。集約していただいたものを都市企画課で現状確認させていただきます。

【委員】それぞれを全部確認していき、それをまとめるのはいつごろまでか？

【事務局】その地元に降りていくのも多分6月ぐらいにはもう入っていかないと景観計画の改定自体が今年度中ですから、6月中には地元の方にて説明をさせていただくというスケジュールになると思います。重点区域を設定させていただくための説明です。

【委員】この会議の次回で決定するというわけではなくて、もう支所の方で決定してしまうということになるのでしょうか？

【事務局】地元の同意をいただけたら、市で決定をさせていただきます。

【委員】そのために委員さんの方のご意向も踏まえるということになりますか？例えば文章で意向を聞くとか。

【事務局】意向を聞くのは今提案していただくところを汲み取るというようなところで、次からは具体的に地元に入り、地元とのやり取りで設定させていただく

ということになります。

【委員】結構たくさん出てきたんで、それをどういうふうにまとめるかなってというのが気になったので聞きました。

【事務局】いくつか提案をいただきましたので、今後地域振興課とすり合わせをして、提案の中で重点区域に選定したいと思うものを、次の地域振興未来会議で報告させていただこうと思いますので、そういった形でよろしくをお願いします。

(2) 青谷地域未来プランおよび実施計画について

事務局より説明

質疑なし

(3) 令和7年度 地域振興未来会議開催スケジュールについて

事務局より説明

【委員】委員の任期が2年ですけど、次の年は同じようなことをするというのか。このスケジュールが次の年はどんなことをするのかっていうのは、今年度の内容のもう1回繰り返しみたいなことをするというのか。

【事務局】大まかなところで基本的に地域未来プランの進捗管理がございますので、その確認はあります。もう一つは、皆様から受けました意見をどういった形で政策に生かしていけるかというお話をさせていただきたいと思います。スケジュールについてはあくまで今年度の予定ですので、来年度以降は改めて協議していきます。中身についても、基本的には同じ形になる可能性もありますけども、もし重点的にやりたい議題がございましたら、継続した議論も可能かと思います。

【事務局】今年度はスケジュールをこの内容でひとまず進めさせていただき、来年はまた別に設定します。予算があるので、どうしても予算に対する評価の部分は1年ごとになってしまうというところはあるとは思いますが。それとは別に、地域を取り組む大きな課題は1年に解決するものではありませんので、そう

いったところの解決に対しては2年越しとか、そういったスケジュールで考えていく部分もあると思っております。もう一つお伺いしたかったのが開催時間です。今回は初回ということで平日のこの時間に設定させていただきましたが、新しい委員のご都合もあるので、この時間帯の開催でよろしいか伺います。

【委員】夜は支所は難しいか。例えば19時以降など。

【委員】総合支所は全然大丈夫ですが、委員の皆さんのご都合もあり夜だと逆にづらいと言われる方もおられるかと思しますので、ここで皆さんの総意で時間を合わせていただきたく思います。

【委員】いろんな時間帯の回があってもいいけど、どっちかに固定するなら夜はちょっと厳しい。

【委員】当面でこの時間帯でやってみて、次回以降委員で協議しながら決めていけばいい。

【事務局】委員さんの予定で木曜日の午後か金曜日だったら参加の可能性が高いというお話を伺っているので、参加しやすい日程で計画します。

【委員】木曜日が良い。

【事務局】それでは木曜の午後中心に組ませていただきます。

【委員】月の時期はどれぐらいになりますか。月の第3とか第4とか。

【事務局】今までですと大体下旬に設定をさせていただくことが多かったですが、必須ではありません。

4. その他

(1) 生活交通協議会の委員選出について

事務局より説明

【委員】どのぐらいの頻度で会議があるのか。

【事務局】令和5年度は、日の丸バスが撤退する事が決定して次どうするかという喫緊の課題が迫ったもので頻繁になってきました。昨年度は落ち着いてきたので、大体2ヶ月に1回あるかないかみたいな感じでした。7年度もそれぐらいで見込んでいます。

【委員】これは昼間の会か。

【事務局】会議は夜です。会議では大体7時ごろから始まって1時間程度で昨年度はおわりました。ボランティアでやっていただいています。

生活交通協議会委員 長谷川 優

生活交通協議会委員 斎藤 智範

(2) 都市計画審議会の委員選出について

事務局より説明

都市計画審議会委員 大谷 茜